

平成27年度から令和3年度までの再編・ネットワーク化の状況

(令和5年3月末時点)

都道府県名	団体名	再編前	再編後
青森県		概要：2市4町で構成するつがる西北五広域連合にて、平成24年度に5病院の経営を統合した上で、平成26年度までに新たにつがる総合病院を整備するとともに、その他の病院の病床機能を順次再編した。	
	五所川原市 つがる市 鱒ヶ沢町 深浦町 鶴田町 中泊町	(平成20年度) 五所川原市立西北中央病院(416床) 公立金木病院(176床) 鱒ヶ沢町立中央病院(140床) つがる市成人病センター(92床) 鶴田町立中央病院(130床)	(平成26年度) (つがる西北五広域連合) つがる総合病院(438床) かなぎ病院(100床) 鱒ヶ沢病院(100床) つがる市民診療所(無床) 鶴田診療所(無床)
宮城県	宮城県 栗原市	(平成28年度) 宮城県立循環器・呼吸器病センター(140床) 栗原市立栗原中央病院(300床)	(令和元年度) 栗原市立栗原中央病院(329床)
	大崎市	(平成20年度) 大崎市民病院(466床) 大崎市民病院鳴子温泉分院(170床) 大崎市民病院岩出山分院(95床) 大崎市民病院鹿島台分院(70床)	(平成30年度) 大崎市民病院(500床) 大崎市民病院鳴子温泉分院(80床) 大崎市民病院岩出山分院(40床) 大崎市民病院鹿島台分院(58床)
秋田県		概要：(一財)秋田県成人病センターの医療機能(心疾患部分のみ)を秋田県立脳血管研究センターに移転し、機能を統合した。	
	秋田県	(平成26年度) 秋田県立脳血管研究センター(126床) (一財)秋田県成人病医療センター(127床)	(平成30年度) 秋田県立循環器・脳脊髄センター(184床) ※(一財)秋田県成人病医療センターは平成27年3月末廃止
山形県	山形県 酒田市	(平成19年度) 山形県立日本海病院(528床) 酒田市立酒田病院(400床)	(平成20年度) (地独)山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院(525床) 日本海総合病院 酒田医療センター(235床)
	山形県 酒田市	(平成23年度) (地独)山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院(646床) 日本海総合病院 酒田医療センター(114床)	(平成29年度) (地独)山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院(646床) 日本海総合病院 酒田医療センター(114床) 酒田市立八幡病院(46床)
山形県		概要：平成20年度に、山形県立日本海病院と酒田市立酒田病院を統合・再編し、地方独立行政法人化した。平成30年度に、酒田市立八幡病院を無床診療所に転換し、他の酒田市運営の5診療所とあわせて山形県・酒田市病院機構に統合し、日本海総合病院を中心に機能分化・ネットワーク化を実施した。	
	山形県 長井市 南陽市 川西町 飯豊町	(平成29・30年度) (置賜広域病院企業団) 公立置賜総合病院(520床(うち一般496床・精神20床)) ※H30.7一般病床26床を精神病床に転換 公立置賜長井病院(110床(うち一般50床)) ※H30.3精神科病床60床削減 公立置賜南陽病院(50床(うち一般50床))	(令和元年度) (置賜広域病院企業団) 公立置賜総合病院(496床(うち一般446床・精神46床)) 公立置賜長井病院(50床(うち一般50床)) 公立置賜南陽病院(50床(うち一般50床))
福島県		概要：地域完結型の医療提供体制の構築を目指すため、南相馬市立小高病院の病床機能の一部を南相馬市立総合病院に移転することで南相馬市立総合病院を増床するとともに、南相馬市立小高病院は診療所化し在宅医療や遠隔診療等を推進するなど機能分担を行った。	
	南相馬市	(平成28年度) 南相馬市立総合病院(230床) 南相馬市立小高病院(99床)	(令和元年度) 南相馬市立総合病院(300床) 南相馬市立総合病院附属小高診療所(無床)
茨城県		概要：筑西市立筑西市民病院、筑西市と桜川市で構成する県西総合病院組合の県西総合病院、医療法人山王病院の3つの病院を統合・再編し、2つの新病院を設立して医療機能を統合・再編した。	
	筑西市 桜川市	(平成28年度) 筑西市立筑西市民病院(173床) 県西総合病院(299床) 医療法人山王病院(79床)	(平成30年度) (地独)茨城県西部医療機構 ※筑西市が設置 茨城県西部メディカルセンター(250床) 桜川市立さくらがわ地域医療センター(128床) ※医療法人隆仁会(旧山王病院運営)が指定管理者として運営
長野県		概要：松本市立国民健康保険会田病院の無床診療所化及び松本市立病院の病床削減と併せて機能分担を進めた。また、松本市立病院については令和8年度中の開院を目標として移転建替を進めている。	
	松本市	(平成29年度) 松本市立病院(215床) 松本市立国保会田病院(31床)	(平成30年度) 松本市立病院(199床) ※H30.10に病床数削減 ※R4に基本設計に着手、R8年度中の開院を予定 松本市立四賀の里クリニック(無床) ※H30.4に診療所化

都道府県名	団体名	再編前	再編後
岐阜県	概要：中津川市立国民健康保険坂下病院の急性期・回復期機能を中津川市立中津川市民病院に集約するとともに、中津川市立国民健康保険坂下病院の一部を介護老人保健施設に転換することなどにより、病床見直しを行い機能分化を進めた。		
	中津川市	(平成29年度) 中津川市民病院 (360床) 国民健康保険坂下病院 (199床)	(令和元年度) 中津川市民病院 (360床) 中津川市国民健康保険坂下診療所 (19床) ※国民健康保険坂下病院の一部を介護老人保健施設に転換
愛知県	概要：愛知県がんセンター愛知病院の経営を平成31年4月に岡崎市に移管するとともに、病床規模等の見直しを行った。		
	愛知県岡崎市	(平成30年度) 愛知県がんセンター愛知病院 (276床) 岡崎市立岡崎市民病院 (715床)	(令和元年度) 岡崎市立愛知病院 (151床) 岡崎市立岡崎市民病院 (715床)
三重県	概要：平成21年10月に地方独立行政法人を設立するとともに医療法人和心会平田循環器病院を統合し、桑名市民病院の分院に再編した。平成24年4月には、医療法人山本総合病院と統合し、市民病院を桑名西医療センター、市民病院分院を桑名南医療センター、旧山本総合病院を桑名東医療センターとした。平成30年4月に3つの病院を統合・再編し、新たに桑名市総合医療センターを整備した。		
	桑名市	(平成20年度) 桑名市立桑名市民病院 (234床) 医療法人和心会平田循環器病院 (79床) 医療法人山本総合病院 (349床)	(平成24年度) (地独) 桑名市総合医療センター 桑名西医療センター (234床) 桑名南医療センター (79床) 桑名東医療センター (349床)
滋賀県	概要：守山市立守山市民病院は滋賀県済生会を指定管理者とするなか、近隣の3次救急指定病院である(済生会)滋賀県病院等の高度急性期病院との機能分化を図り、圏域内に不足する回復期機能を担うため、守山市立守山市民病院にリハビリテーションセンター等を整備し、スタッフを増員する等、回復期機能の強化を進めている。		
	守山市	(令和元年度) 守山市民病院 (199床 (うち、急性期111床、療養88床)) (済生会) 滋賀県病院 (393床)	(令和3年度) 守山市民病院 (199床 (うち、急性期51床、回復期100床、療養48床)) (済生会) 滋賀県病院 (393床)
大阪府	概要：大阪府、大阪市、大阪府立病院機構、大阪市民病院機構が共同で、急性期・総合医療センターの機能の一部と大阪市立住吉市民病院の機能を統合した大阪府共同住吉母子医療センターを急性期・総合医療センター敷地内に整備した。大阪市立住吉市民病院は平成30年3月末で閉院し、大阪府共同住吉母子医療センターは平成30年4月から供用開始した。		
	大阪府大阪市	(平成24年度) (地独) 大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター (768床) 大阪市立住吉市民病院 (198床)	(平成30年度) (地独) 大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター (865床) (うち大阪府共同住吉母子医療センター (125床))
兵庫県	概要：兵庫県立柏原病院と(日赤) 柏原赤十字病院を統合・再編し、新病院を整備した。		
	兵庫県	(平成27年度) 兵庫県立柏原病院 (303床) (日赤) 柏原赤十字病院 (99床)	(令和元年度) 兵庫県立丹波医療センター (320床)
	神河町	(平成28年度) 神河町立公立神崎総合病院 (155床) 宍粟市立公立宍粟総合病院 (205床) 医療法人姫路聖マリア病院 (354床)	(令和元年度) 神河町立公立神崎総合病院 (140床) 宍粟市立公立宍粟総合病院 (205床) 医療法人姫路聖マリア病院 (354床)
岡山県	概要：地域の医療連携の拠点として安定的かつ持続的な医療の提供を行っていくため、令和3年度に地方独立行政法人玉野医療センターを設立し、玉野市立玉野市民病院(公立)と(株)玉野三井病院(民間)の経営を統合した上で、令和6年度に新病院を整備する予定である。		
	玉野市	(令和元年度) 玉野市立玉野市民病院 (199床) (株) 玉野三井病院 (110床)	(令和3年度) (地独) 玉野医療センター 玉野市民病院 (199床) 玉野三井病院 (110床)
鳥取県	概要：鳥取県立中央病院と鳥取赤十字病院について、県立中央病院の新築建替に併せて病床機能を再編し、機能分化を進めた。		
	鳥取県	(平成27年度) 鳥取県立中央病院 (431床) (日赤) 鳥取赤十字病院 (438床)	(平成30年度) 鳥取県立中央病院 (518床) (日赤) 鳥取赤十字病院 (350床)
山口県	概要：周防大島町立の大島病院、東和病院及び橘病院について、東和病院の減床、橘病院の有床診療所化、診療科の見直し等の再編を実施した。		
	周防大島町	(令和元年度) 周防大島町立大島病院 (99床) 周防大島町立東和病院 (114床) 周防大島町立橘病院 (36床)	(令和2年度) 周防大島町立大島病院 (99床) 周防大島町立東和病院 (99床) ※15床減床 周防大島町立橘医院 (19床) ※有床診療所へ転換
香川県	概要：高松市立高松市民病院と高松市立香川病院を移転統合し、急性期機能を集約させた高松市立みんなの病院を平成30年9月に開院した。		
	高松市	(平成21年度) 高松市立高松市民病院 (417床) 高松市立香川病院 (126床) 高松市立塩江病院 (87床)	(平成22年度) 高松市立高松市民病院 (417床) 高松市立高松市民病院附属香川診療所 (無床) 高松市立高松市民病院塩江分院 (87床)
熊本県	概要：平成29年度に公立玉名中央病院を地方独立行政法人化し、平成30年度に公立玉名中央病院と一般社団法人玉名郡市医師会の玉名地域保健医療センターが経営統合を行い、令和2年度(R3.3.1~)に2つの病院を統合し、新病院「くまもと県北病院」を開院した。		
	玉名市玉東町	(平成28年度) (公立玉名中央病院企業団) 公立玉名中央病院 (302床) 玉名地域保健医療センター (150床)	(平成30年度) (地独) くまもと県北病院機構 公立玉名中央病院 (302床) 玉名地域保健医療センター (150床)
			(令和3年度) (地独) くまもと県北病院 くまもと県北病院 (402床)